

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2	学年	2	コース	教養フロンティア (人間系)
								必修・選択	必修
使用教材	教科書	「日本史A 人・くらし・未来」 (第一学習社)							
	副教材	「新詳 日本史」 (浜島書店)							

学習目標

開国から現在に至るまでの歴史を、世界各国との関わりに注目しながら学ぶ。

学習方法

- ・授業プリントや板書ノートを活用した基本的知識の取得
- ・歴史的事象の資料読解を通じた学習
- ・既存知識や資料活用スキルを活かしたレポート作成
- ・反転学習を取り入れた協働学習

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	歴史的事象に関心を持ち、課題を意欲的に追求しようとする。 主体的に学習し、協働的に活動するなど授業に参加する
②思考・判断・表現	歴史的事象から課題を見だし、それに対して多面的・多角的な考察ができる 学習問題に対する考えを学友と共有し、ともにまとめ、説明することができる。
③技能	授業に関する諸資料を様々なメディアを通して収集、選択し、効果的に活用している。
④知識・理解	日本の近代史について理解し、その知識を習得する。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
授業自己評価	◎				
ワークシート		○	◎		
レポート	○	◎	○		
小テスト		○	○	◎	単元終了時
定期考査		○	○	◎	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

- ・基本的な知識の習得は必要だが、単純な暗記ではなく、原理・しくみを「理解する」ことを強く求める
- ・日々の授業を大切に、家庭学習等で復習をこころがけること

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	第1章 近代国家の形成と国際関係の推移 第1節 近代への胎動 第2節 開国と幕末の動乱 第3節 近代国家の形成 第4節 国際関係の推移と近代産業の発展	第1章では、近現代史を理解する前提となる前近代の復習をしながら、ペリー来航以降の開国について学びます。用語をただ学ぶのではなく、それまでの鎖国政策と開国に至る国際情勢について注目して学びます。	
2 学期 30単位時間	第2章 両大戦をめぐる国際情勢 第1節 第一次世界大戦と日本 第2節 第二次世界大戦と日本	第2章では、20世紀の間起こった二つの世界大戦について学びます。日本を取り巻く情勢と各国の思惑に触れながら、大戦の概要の理解を深めてもらおうと思っています。	【評価方法】 自己評価アンケート（単元終了時） ワークシート レポート 定期考査
3 学期 18単位時間	第3章 現代の日本と世界 第1節 日本の再出発 第2節 独立後の政治と経済の発展 第3節 現代の日本と世界	第3章では、第二次大戦後の日本の復興と発展のみちのりを学びます。日本の復興の概要はもちろん、その背景となる世界情勢に着目し、日本の経済発展の要因を考察します。	